

2. 整備事業

(福島県 令和3年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①							成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都県の評価	備考
				被災前 22年度	1年後	2年後	3年後	4年後	目標値	達成率				交付金	都県費	市町村費	その他				
西郷村	雪割牧場(有)	畜産物共同利用施設整備(家畜飼養管理施設)(酪農)	生乳生産量の増及び経産牛飼養頭数の増 生乳生産量 4,508 t 経産牛飼養頭数 500頭	(平成28年度)	(平成30年)	(令和元年)	(令和2年)	(令和4年)	(令和4年)	生乳生産量 64.4%	乳用牛哺育・育成牛舎建設の整備により経産牛の飼養頭数が400頭、生乳生産量が2,905tに増加。	695,520,000	315,110,000	204,821,000	0	175,589,000	H31.3.18	生乳生産量2,905t 経産牛飼養頭数400頭となり令和4年の目標値には達成していないが、計画的な経産牛増頭により生乳生産量の増加が図られている。今後は飼養頭数の増頭を図り、生乳生産量の増産をして、令和4年度の目標達成に向けて取り組む。	生乳生産量2,905t 経産牛飼養頭数400頭となり、令和4年の目標が達していないが、今後の取組により達成が見込まれるため、引き続き飼養管理等について助言し、目標達成に向け支援する。	中間評価 H29年度(繰越)、30年度事業 2ヶ年実施により、目標値同一のため、一括報告。	
				雪割牧場(有)、塩川牧場、星牧場	生乳生産量: 2,492t	経産牛飼養頭数 238頭	経産牛飼養頭数 270頭	経産牛飼養頭数 400頭	経産牛飼養頭数 500頭	経産牛飼養頭数 80.0%											
				(平成29年度)	雪割牧場、塩川牧場、星牧場	生乳生産量: 2,553t	経産牛飼養頭数: 290頭														
											(H29~30)	313,200,000	138,110,000	89,771,000	0	85,319,000					
											(H30)	382,320,000	177,000,000	115,050,000	0	90,270,000					

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー 成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①								成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都県の評価	備考		
			被災前 22年度	1年後	2年後	3年後	4年後	目標値	達成率	交付金				都県費	市町村費	その他							
田村市	(株)JA和牛ファーム福島さくら	畜産物共同利用施設整備(肉用牛繁殖雌牛)	平成35年度管内飼養頭数 3,000頭	(平成27年度)管内飼養頭数 2,884頭	(平成30年)農家戸数 325戸 飼養頭数 1856頭	(令和元年)農家戸数 301戸 飼養頭数 1956頭	(令和2年)農家戸数 286戸 飼養頭数 2033頭			(令和5年)管内飼養頭数 3,000頭	67.8%	繁殖牛の預託及び子牛出荷により管内飼養頭数が増加。	畜産物共同施設整備 家畜飼養管理施設 1棟976㎡ 繁殖牛舎 1棟976㎡ 分娩・育成牛舎 1棟291.6㎡ 哺育牛舎 1棟756.7㎡ 預託牛舎 1棟730.95㎡ 堆肥舎 730.94㎡ 飼料庫 1棟107.64㎡ 管理室1棟 45.74㎡ 外溝(舗装) 養牛カメラ4台 牛歩45個 モバイル牛温恵12個	305,474,841	141,423,000	91,925,000	0	72,126,841	H31.2.28	<p>農家戸数が減少傾向だが、飼養頭数は増加傾向にある。和牛ファーム自身の飼養頭数の増頭等の努力や、適正な飼養管理に努め全的に増頭していきたい。</p> <p>また、農場で生まれた子牛のセリ成績が芳しくないためか、農場の評判が上がらず預託の実績が上がっていない。今年度から県の農業普及所の助言を仰ぎ、従業員の飼養管理作業の見直しを行っている。</p> <p>加えて、畜産クラスター増頭事業、市やJA単独事業を組み合わせて増頭を図る農家の一助として、当施設での預託等の利活用の促進につなげる。</p> <p>さらに、管内の農家戸数減少に歯止めをかけるためにも、農業次世代人材投資事業における指定研修機関としての認定を受け、研修生受け入れ体制を整えており、新規参入を目指す若者を当施設の従業員として経験を積ませることにより、新たな担い手を育成し、飼養頭数拡大を図り目標達成につなげる。</p>	管内飼養頭数は2033頭となり、目標達成に向けて飼養頭数が増加した。令和5年度における目標達成に向けて、県としても繁殖成績改善に向けた助言指導や管内農家における預託の活用を推進しながら、畜産基盤の回復を支援する。	さらに畜産クラスター増頭事業を活用した増頭を推進し、当施設での預託等の利活用の促進を図り、目標達成に向け支援を継続する。	中間評価 平成30年度事業

都県平均達成率	70.7%	実施から3年目の時点で、県全体の成果目標の達成状況は、各地区(事業)の平均達成率が90%未満であるため「未達」と評価する。飼養管理等、繁殖成績改善に向けた助言指導や管内農家における預託の活用を推進しながら、成果目標達成に向け引き続き支援していく。
---------	-------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都県全体の総合所見を記入すること。
6 「都県平均達成率」欄は、都県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。